

### 令和3年度予算総額

(単位:千円、%)

	3年度 予算額	2年度 予算額	伸び率	
一般会計	68,670,000	69,086,000	△0.6	
特別会計	国民健康保険事業	16,876,000	16,996,000	△0.7
	後期高齢者医療	4,569,000	4,470,000	2.2
	介護保険事業	14,720,000	14,165,000	3.9
下水道事業会計	収益的収入	4,303,819	4,351,161	△1.1
	収益的支出	3,845,279	3,945,534	△2.5
	資本的収入	891,157	1,097,441	△18.8
	資本的支出	1,735,203	1,797,308	△3.5

### 令和3年度 一般会計予算。 各特別会計予算。 下水道事業会計予算

予算議案を審査するため、定例会初日に一般会計、特別会計及び下水道事業会計の各予算特別委員会が設置され、一般会計は3月2日から4日までの3日間、特別会計及び下水道事業会計は3月5日に審査が行われました。定例会最終日には、幸田昌之一般会計予算特別委員長と吉本ゆうすけ特別会計・下水道事業会計予算特別委員長からそれぞれ審査報告があり、採決の結果、一般会計を賛成多数で、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計及び下水道事業会計を全会一致で可決しました。市長の提案説明の概要は以下のとおりです。

【一般会計】  
予算総額は6百86億7千万円で、前年度当初予算に比べ0.6%、4億1千6百万円の減と

なっています。限られた財源を真に必要な事業に振り向け、持続可能な財政運営を実現し次世代に対し責任を持って事業に取り組むための予算としています。

【歳入】市税が前年度比13億4千3百万円の減となるため基金の活用や臨時財政対策債の発行を10億7千9百万円増額します。

【歳出】障害者自立支援給付費等の増などで扶助費が引き続き増額していますが、骨格予算であるため、市民生活に影響が生じない範囲で、新たな施策の経費や投資的経費を抑えています。

【後期高齢者医療特別会計】  
予算総額は45億6千9百万円で、前年度比2.2%、9千9百万円の増となっています。

【歳入】保険料、一般会計繰入金、広域連合からの受託事業収入等が主なものです。

【歳出】広域連合へ納付する負担金のほか、保健事業に要する経費等を計上しています。

後期高齢者医療の被保険者数は、前年度比600人増の2万4千2百人を見込んでいます。

【介護保険事業特別会計】  
予算総額は百47億2千万円で、前年度比3.9%、5億5千5百万円の増となっています。

【歳入】保険料、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金、繰入金等を計上しています。保険料は令和3年度から3年間の保険料基準額を500円引き上げ、月額5千8百円としています。

【歳出】保険給付費は、前年度比4.3%、約5億5千4百30万円の増を見込んでいます。要支援要介護認定者数は、前年度比4.6%増の9千6百81人を見込んでいます。

【下水道事業会計】  
【収益的収入及び支出】  
収益的収入は43億3百81万9千円で、前年度比1.1%、4千7百34万2千円の減です。収益的支出は38億4千5百27万9千円で、前年度比2.5%、1億25万5千円の減です。

【資本的収入及び支出】  
資本的収入は8億9千15万7千円で、前年度比18.8%、2億6百28万4千円の減です。資本的支出は17億3千5百20万3千円で、前年度比3.5%、6千2百10万5千円の減です。

### 一般会計予算に対する 各会派の討論(要旨)

### 市議会公明党 賛成

市民の生命と生活を守るため一定の事業展開がなされている

①がん検診の受診勧奨案内の全戸配布、②健康ポイントとボランティアポイントの事業統合、③フレイル予防推進員の配置、④生活困窮者の支援体制の強化、⑤災害時の蓄電池設置への助成の検討、⑥ICT支援員の配置、⑦各種証明書のコンビニ交付は評価できる。なお、使用料等の見直しは公平性の観点から粛々と進めるべきである。公共交通は、総合的な交通体系を整理し見直す必要がある。ごみ袋の値下げ時期の前倒しを検討すべきである。空き家対策は、福祉連携で借りる側に寄り添う居住支援を進めることを求める。単身生活保護世帯の孤独死が年間16人発生したことは信じがたい現実であり、職員配置が適正でないことの証明であることなどを指摘する。

### 政和会 反対

財源確保の取組や新型コロナウイルス対策が不十分な点などを指摘

①危機的な財政状況の中で財源確保の姿勢がない。②予算構築の指針、予算方針が不適当である。③DX取組へのトップの姿勢が見られない。④コロナ禍での複合災害などへのリスクヘッジができていない。⑤新型コロナウイルス対策が脆弱である。⑥骨格予算に花小金井武道館解体費を計上する必要性の根拠がない。

⑦市全体で保育園の待機児童解消に取り組む姿勢がない。⑧公園を活用した市民を巻き込む市の姿勢が弱い。⑨都市計画、まちづくりが進まない。⑩GIGAスクール構想の市の方針、目標、方向性が不明瞭である。そのほか、2020年オリンピック・パラリンピック事業におけるコミュニケーションサイト実施の必要性が不明瞭である点などを指摘する。

### フォーラム小平 賛成

全体として適正な予算であると判断

保育園待機児童対策等の喫緊の課題に対応し、ICT化にも取組が予定されているなど、全体として適正な予算と判断した。なお、①HPVワクチン接種は、メリットと共に副反応の情報提供にも努めてほしい。②DXの推進担当課長ができるが、国や都の機関のカウンセラーとしてのみ機能することがないように

してほしい。③新型コロナウイルス対策として、PCR検査センター運営費の補助や、市役所のICT化などは重要な施策と評価するが、もっと早く取り組めたのではと思うものが多い。市民の不安に共感し寄り添うこと、具体的施策をスピード感を持って推し進めること、不安を和らげ安心してくださると発信していく姿勢を示すことを要望する。

### 一人会派の会 反対

目先のことしか見ておらず、将来を見据えた予算になっていない

①花小金井武道館の解体費用など、骨格予算でありながら市の独自施策など政策判断を基に計上されたものが多く含まれる。②97.3%という非常に高い経常収支比率で弾力性に乏しい予算で、将来の見通しが立たない財政状況を打開する姿勢が見えない。③補助金改革の姿勢が見えない。④小平市東京オリンピック・パラリンピック

ク子ども夢・未来基金は、事業の実施が不透明である以上、廃止し、新型コロナウイルス対策など柔軟に活用すべきである。⑤教育委員会の予算について、将来を担う人材のための予算に、他分野と同様の6%のマイナスシリングをかけたことは将来の小平市に対する裏切りである。なお、会派内で賛成する議員がいることを申し添える。

### 日本共産党小平市議団 賛成

保育園待機児童対策、コロナ禍での生活困窮者への支援等を評価

①待機児童解消に向け、2022年度に1園、2023年度に3園の認可保育園をつくることは評価するが、児童数増加に間に合っておらず、追加対策を要望する。②コロナ禍での生活困窮者のための就労準備支援等を評価するが、PCR検査数の拡充を要望する。③GIGAスクール構想でのICT支援員配置等を評価するが端末使用による目

めて要望する。③こだいら生活相談支援センターにコミュニケーションソーシャルワーカーの増員が図られることを評価する。④都市計画公園整備は、市民と共に進めていくことを要望する。⑤次期教育振興基本計画策定に当たり、多様な意見を取り入れていくことや、子どもたちの直接の意見交換の場を設けていくことなどを要望する。

### 生活者ネットワーク 賛成

コロナ禍での市民生活に軸足を置いた予算となっている

事業の見直し等で財源を確保し、堅実な予算編成と受け止めている。なお、①いきいき協働事業で、男女共同参画についての連続講座の開催を評価するが、今後は、男女共同参画センター事業として専門的知識のある職員の配置等を要望する。②保育園の新規開設による待機児童の解消は進めてほしいが、保育の質のガイドライン作成を改

トはコロナ禍に人を集める事業となり疑問である。⑤公共施設整備基金に約1億5千万円積み立てる一方、緑化基金の積立は3千万円で残念である。なお、こだいら生活相談支援センターへのコミュニケーションソーシャルワーカー増員による相談支援体制の拡充などは評価する。また、地下水活用による流水再生事業は継続するよう願う。

### まちづくり市民こだいら 反対

骨格予算に入れる事業選択の基準が不明瞭であると指摘

①花小金井武道館解体は、着手の遅れで大きな問題が生じるわけでもなく骨格予算に入ることが理解できない。②中央公民館等の複合化は新市長の下で慎重に検討すべきである。③小平駅北口再開発事業は、新市長の下、住民と共にゼロベースで検討し直すべきである。④2020オリンピック・パラリンピックのコミュニケーションサイト